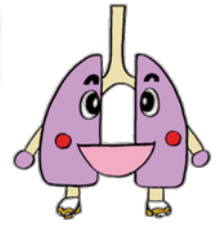
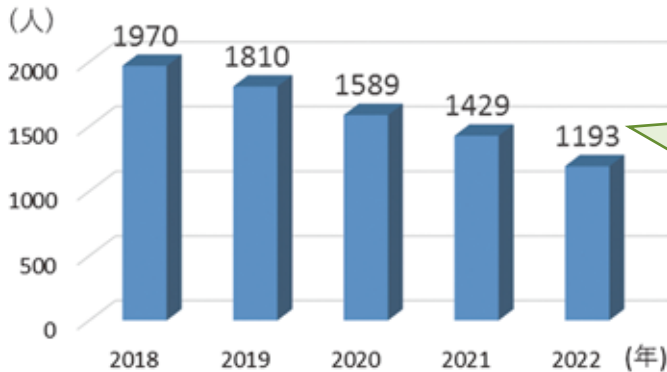


結核は過去の病気ではありません！



東京都新登録結核患者数の推移



日本では毎年1万人以上、東京都でも1,000人以上の方が新たに結核と診断されています。結核は過去の病気ではありません。

どうやって感染するの？感染すると人にうつすの？

結核患者さんの咳やくしゃみの飛沫（しぶき）には結核菌が含まれていることがあります。それを周囲の人が吸い込み、肺に定着することにより「感染」します。「感染」した人の10人に1人か2人が「発病」し、病状によっては他の人にうつす可能性が出てきます。

「感染」しただけでは身体への影響や他の人へうつす心配はありません。

「発病」してもきちんと薬を飲むことで治る病気です。



どんな症状が出るの？

※症状が出ない場合もあります。



咳・痰



発熱(微熱)



だるさ

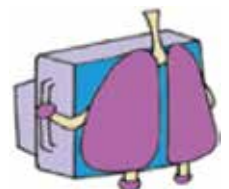


体重減少

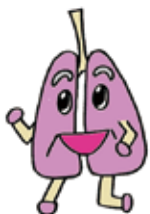
風邪の症状に似ているため結核を疑わず、受診や診断が遅れることもあります。上記のような症状が2週間以上続く時は、結核を疑い受診をしましょう。

早期発見のためには何ができるの？

胸部エックス線検査で「発病」しているかを調べることができます。学校・職場健診や住民健診を活用し、年に1回は胸部エックス線検査を受けましょう。



<参考>2022年 結核登録者情報調査年報集計結果について
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001139692.pdf>



【この記事に関するお問合せ】保健対策課 感染症対策担当

